令和８年10月13日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

# 知りたい！
# 「情報の収集」のポイント

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 学校現場の先生方のお悩み



検索



成果物



コピー＆ペースト



# 学校現場の先生方のお悩み

## イメージ図　※「弥生時代の特徴を100文字程度でまとめよう」という学習課題が設定された場合

【検索結果の画面】

AI による概要

弥生時代（やよいじだい）は、日本列島で水稲農耕（米づくり）が始まり、金属器が使われるようになった、紀元前10世紀頃から紀元後3世紀中頃までの時代です。 Wikipedia +2



**弥生時代の主な特徴**

- **稲作の始まり**: 中国大陸や朝鮮半島から伝わった水稲農耕が西日本り、人々の定住生活が定着しました。
- **金属器の普及**: 武器や農工具として使われた「鉄器」や、祭祀（さ鐸（どうたく）や銅鏡などの「青銅器」がもたらされました。
- **社会の変化**: 収穫量や土地をめぐる争いが起き、周囲を堀で囲んだ「環濠集落（かんごうしゅうらく）」が作られ、やがて国が形成されました。 名古屋刀剣ワールド +4

コピー＆ペースト

【学習課題に対する成果物の様子】

- **稲作の始まり**：中国大陸や朝鮮半島から伝わった水稲農耕が西日本から東日本へ広がり、人々の定住生活が定着しました。
- **金属器の普及**：武器や農工具として使われた「鉄器」や、祭祀（さいし）に使われた銅鐸（どうたく）や銅鏡などの「青銅器」がもたらされました。
- **社会の変化**：収穫量や土地をめぐる争いが起き、周囲を堀で囲んだ「環濠集落（かんごうしゅうらく）」が作られ、やがて国が形成されました。

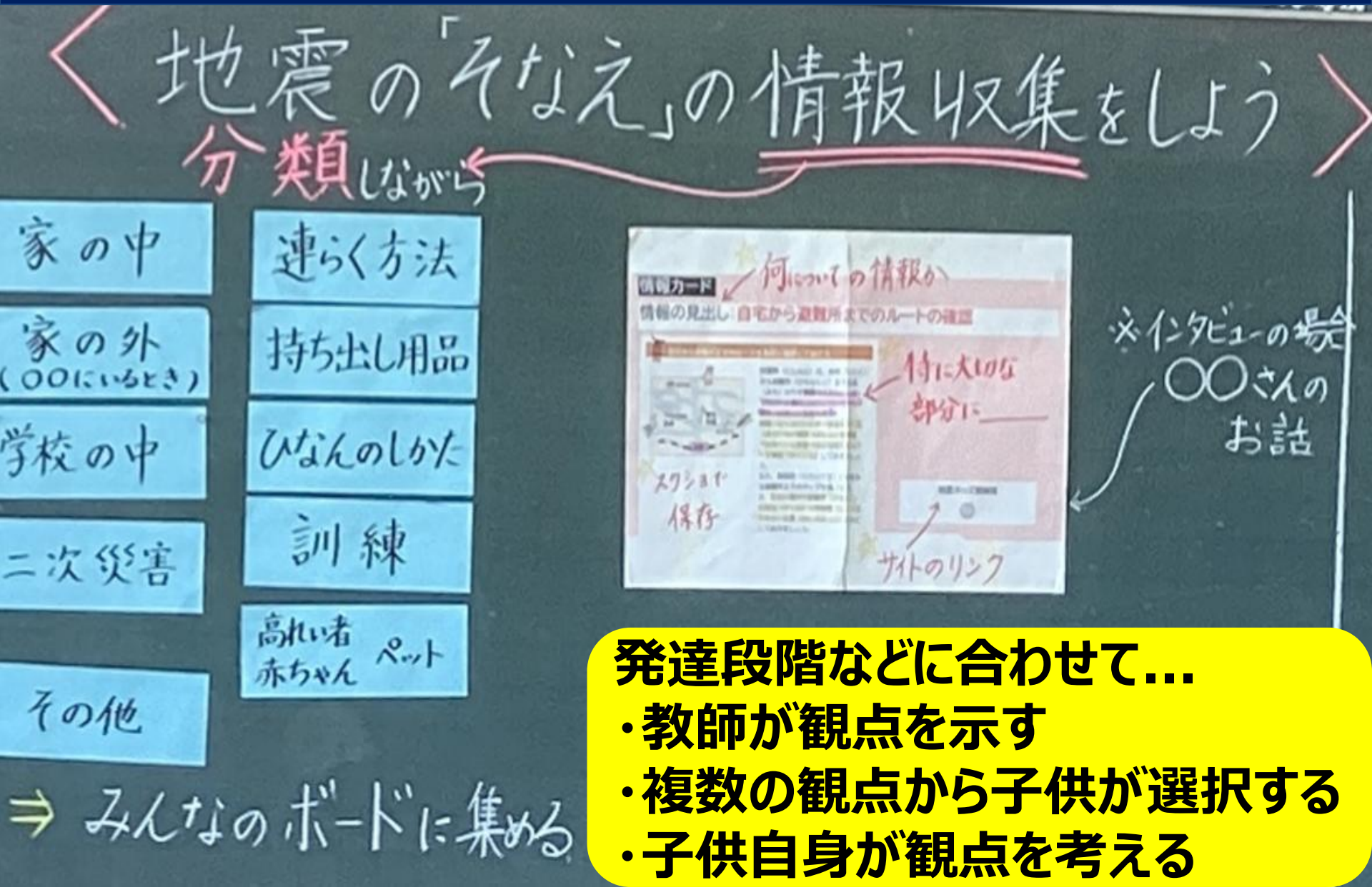
【出典】GIGA StuDX推進チームが研修用に作成したイメージ図

- 一方、例えばAIの更なる発展など、デジタル学習基盤自体は今後も変化していくことが想定される。例えば現在でも、検索結果の最上部にAIによる要約が表示され、その内容を単純にコピー＆ペーストしている児童生徒に対して適切な指導がなされていない実態もみられる。

【出典】中央教育審議会　教育課程部会　次期学習指導要領等に向けた審議まとめ（一部抜粋）
https://www.mext.go.jp/content/20261005-mxt_kyoiku01-000052360-1.pdf

**資料へのリンクはこちら**

# 情報収集の観点を明確にする




**発達段階などに合わせて…**

- **教師が観点を示す**
- **複数の観点から子供が選択する**
- **子供自身が観点を考える**

# 画像検索を用いた情報の収集




**形や特徴を見比べながら、必要な情報を集める**

【出典】文部科学省「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』

# 文章だけでなく、画像からも情報を読み取る






**発信者の意図や表現の工夫に気付く**

【出典】埼玉県川越市立高階西小学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）

# 動画を用いた情報の収集




**動きや流れを捉えながら、必要な情報を集める**

【参考】NHK ONE for School「歴史にドキリ」

# 小学校４年生 総合的な学習の時間「防災マップをつくろう」



【フィールド調査】



【インターネット検索】

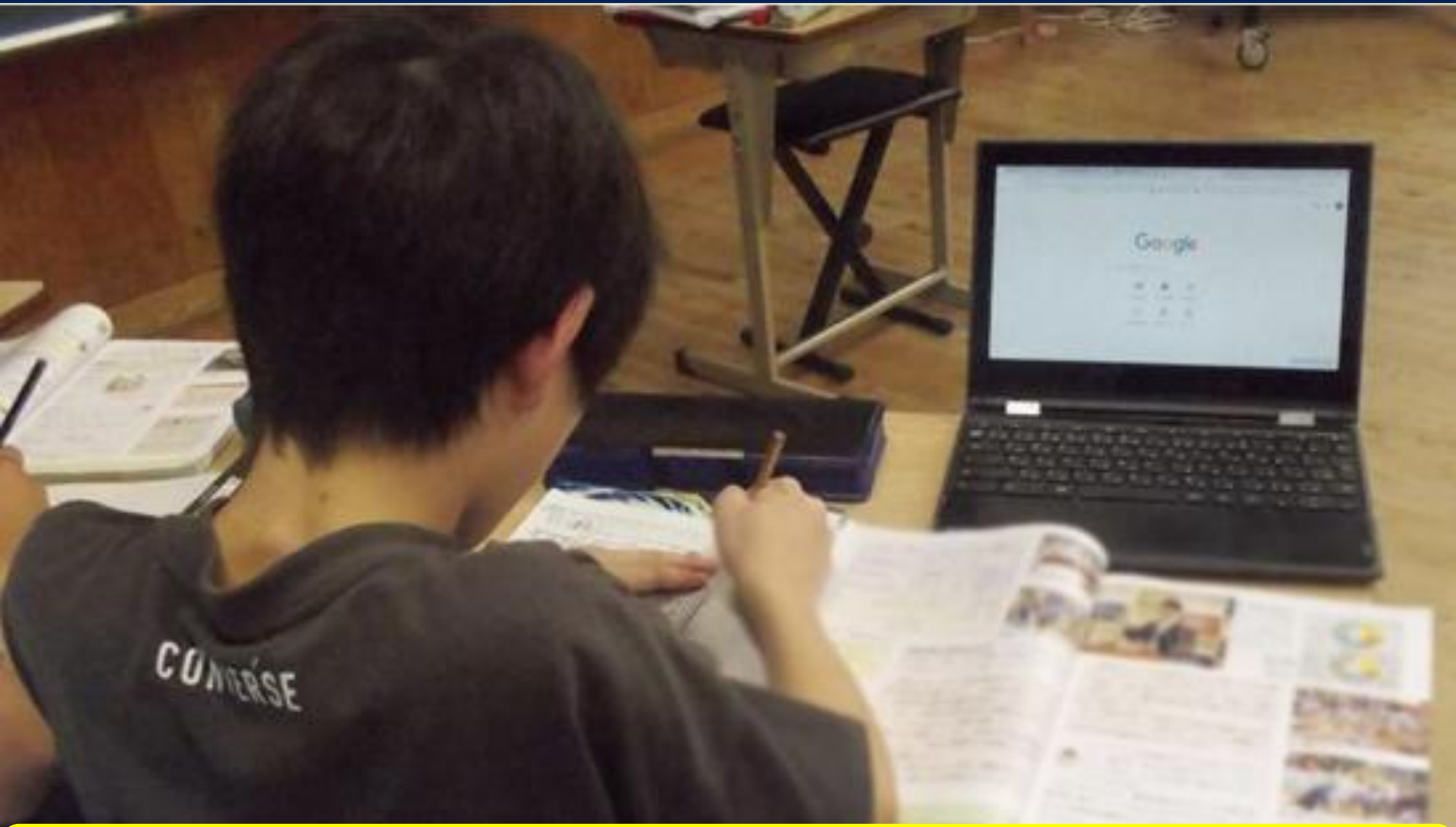


【取材の記録】

**体験を通して情報を集め、端末で記録・蓄積**

【出典】StuDX Style「各教科等での活用」2 .各教科等における学習場面での活用
https://www.mext.go.jp/content/000365816.pdf

# 複数の手段による情報収集



**情報の比較や吟味をして、妥当性を確かめる**

【出典】佐賀県武雄市立若木小学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）

# 中学校 社会科 地理的分野「日本の諸地域」

【課題を把握し，課題解決の見通しを持つ場面】



**問い**：「東北地方の伝統行事にはどのような共通点が見られるのだろう。」

- NHK for schoolで『秋田の竿燈まつり』，『仙台七夕まつり』などの短時間の動画を閲覧し，気付いたことを話し合う。　（※付箋機能を利用して話し合うことも考えられる。）

**ＩＣＴ活用のメリット**

○動画を近くで確認でき，微細な情報も見つけやすい
○必要に応じて個別再生が可能

【学習課題の解決に向けて必要な情報を収集する場面】



例）RESAS→まちづくりマップ→From-to分析
→表示地域を市区町村とし，秋田県秋田市を設定
→2020年6月と2018年の８月を比較

**問い**：「東北地方のお祭りを観光資源として活用するにはどのような工夫をしたらよいのだろう。」，「東北地方では，どのように他地域とのつながりをもとうとしているのだろう。」等

- ビッグデータを用いることで課題解決に向けて有用な資料を収集することができることを理解する。
- 流線図等，様々な主題図から情報を適切に読み取る技能を身に付ける。

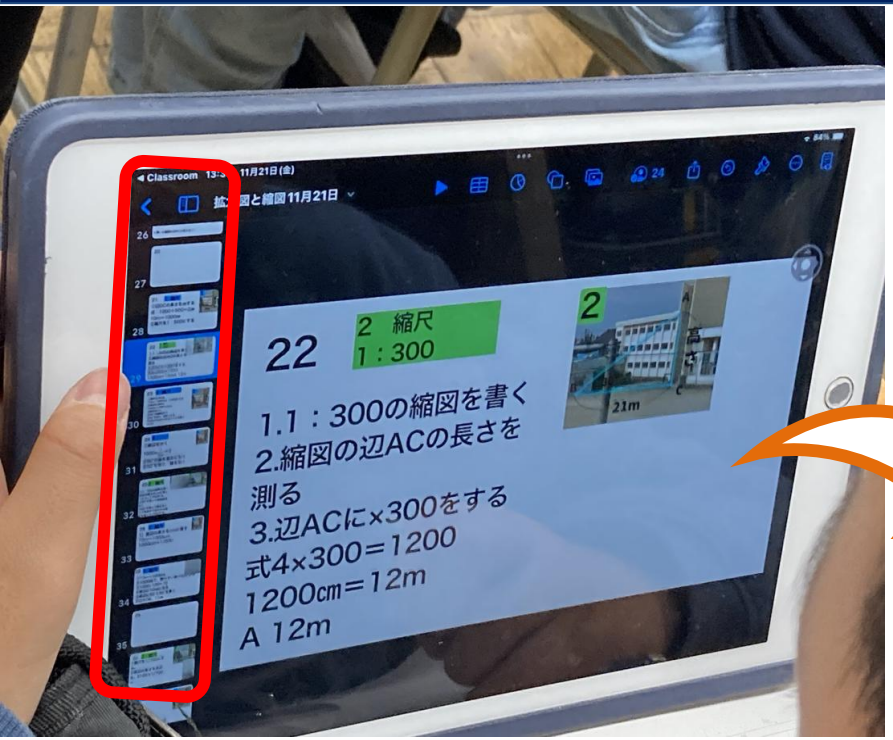
**ＩＣＴ活用のメリット**

○生徒の関心を高める資料の提示
○信頼性の高い情報にアクセスする技能の習得
➡C(4)「地域の在り方」の地域調査での活用

【活用したソフトや機能】 ウェブブラウザ（動画視聴，RESAS閲覧）

【出典】文部科学省 GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導について 中学校 社会科 実践事例　※　赤枠はGIGA StuDX推進チームが研修用に追記

# クラウドを活用して、異なる考えを参照する






**対話を通して情報を比較・吟味し、学びを深める**

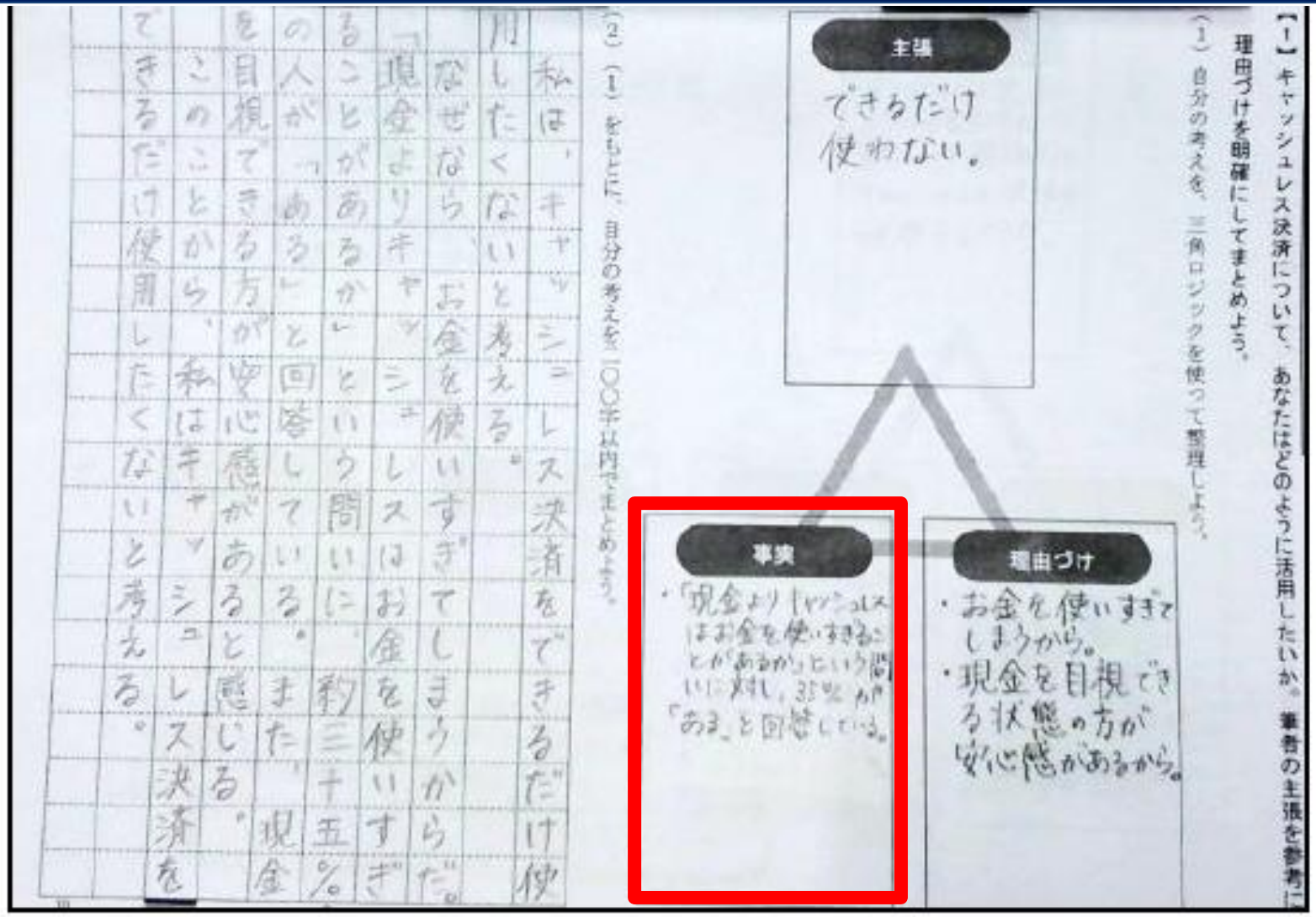
【出典】新潟県新潟市立大野小学校　※　矢印はGIGA StuDX推進チームが研修用に追記

# 集めた情報と情報をつなげて関連付ける




**適切に集めた情報は、整理・分析でも生かされる**

# 観点別に枠組みを示す




# 引用した情報と自分の考えを区別する

【出典】鹿児島県鹿児島市立長田中学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）※ 赤枠等はGIGA StuDX推進チームが研修用に追記

# 発信源の確認

出典　本の情報を書こう

情報カード

書名(本の名前):
発行年:
作者・筆者:
(＊発行者ではない)
発行年:
作者・筆者:
出版社・発行所:

<サイト名>
<URL>
<サイトを見た日>

**必要な場面で適切に引用し、出典を明示する**

【出典】鳥取県鳥取市立米里小学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）

# 必要な情報にアクセスしやすい学習環境



**自分のタイミングで必要な情報を収集**

# 特設Webサイト「StuDX Style」

StuDX Style

検索

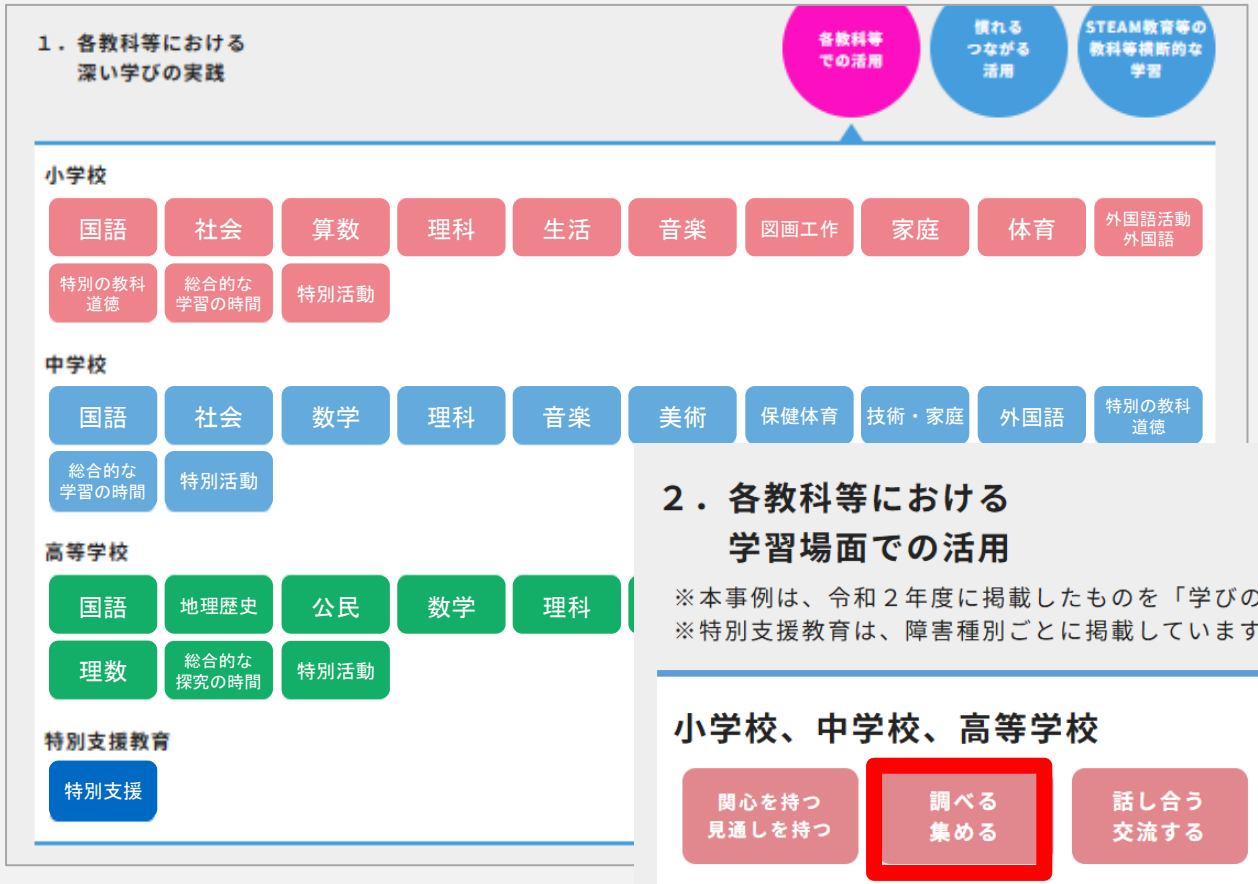
https://www.mext.go.jp/studxstyle/index.html






【出典】令和７年度第３回プチ学習会「StuDX Style Webサイトの上手な歩き方」

# 各教科等における学習場面での活用




## 2．各教科等における学習場面での活用

※本事例は、令和２年度に掲載したものを「学びの過程」で再整理したものです。
※特別支援教育は、障害種別ごとに掲載しています。

### 小学校、中学校、高等学校

関心を持つ 見通しを持つ | **調べる 集める** | 話し合う 交流する | 分析する | 発表する 表現する | 振り返る

### 特別支援教育

視覚障害 | 聴覚障害 | 知的障害 | 肢体不自由 | 病弱・身体虚弱 | 発達障害

令和８年10月13日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

# 知りたい！
# 「情報の収集」のポイント

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN